

日本学術会議会長談話  
「アフマドレザ・ジャラリ博士の状況に対する深刻な懸念について」

死刑執行が差し迫っていると伝えられる災害医学研究者であるアフマドレザ・ジャラリ博士の状況について国際学術会議（ISC）が表明した重大な懸念を共有します。国連の恣意的拘禁に関する作業部会がこの問題について採択した 2017 年の意見を考慮し、ISC とともにジャラリ博士の死刑執行の停止を求めます。

令和 4 年 5 月 18 日  
日本学術会議会長 梶田 隆章